

本気の「働き方改革」

～学校における働き方改革は、決定打のない総力戦です～

草津市教育委員会事務局
学校教育担当副部長 兼 学校教育課長 上原 忠士

学校における働き方改革は、昨今の深刻な教師不足もあり早急に解決しなければならない課題です。みなさんにとって働き方改革に対する受けとめはどのようなものでしょうか。

強制的で一方向的なトップダウン型の働き方に対して「うんざり」（不快感）、取組を進めてきたが手応えはなく「もう疲れた、やりたくない」（負担感・徒労感）、「自分から進めるつもりはない」（無関心）、「やりたいがためらいもある」（不安感）、「改革の取組を進めていきたい」（期待感）などの声が聞こえてきます。

「働き方改革」を推進する際、①教職員という仕事の魅力を取り戻すという視点、②持続可能なシステムとして制度を再構築していく視点、③学校だけでなく保護者、地域レベルで推進していく視点が必要になってきます。また、働き方改革のキャッチフレーズの一つに「子どもと向き合う時間の確保」が掲げられていることが多いですが、その大前提として教職員が自分自身の生き方（キャリア）と向き合い、限られた時間をどのように費やすかを考えるということが必要になってきます。**“ウェルビーイング<Well-being>な働き方”ができる学校づくり**をめざして、みんなで知恵を出し合えることから少しずつ取り組むことが最善策だと考えています。

本市では、2学期から「情報共有アプリ」「ホームページ管理システム CMS」を本格的に導入することにより、「電話による欠席連絡の不要」「おたよりのペーパーレス化」「市教委からのチラシ等の配布（一斉配信）」「個別懇談会等の希望日時調査アンケートのデジタル化（集計作業・日程調整の縮減）」などに取り組んでいきます。また、今年度中に「草津市学校業務改善プラン」の全面的な見直しを行い、校長会や教頭研修会を通じて学校の声を集約し、今までの取組の成果と課題を整理して、保護者や地域の方からの理解や支援をいただきながら学校全体の業務環境の改善を一層進めていきます。よろしくお願いします。

“教職員にウェルビーイング<Well-being>（良好な状態）、本来業務に全力投球！”



令和５年度 校内研究主題

今年度の各小中学校の校内研究の研究主題を紹介します。どの小中学校でも、指導力の向上をめざして取り組まれています。ぜひ、研究内容や取組の情報交換に活用してください。

学 校 名	研 究 主 題	教科等
志津小学校	いきいきと伝え、考えを深め、高めあう子の育成 ～読み解く力の視点で築こう！ 志津小PDCA cycle～	算数科
志津南小学校	自分で選んだ方法で、自分の考えを発信できる子どもをめざして ～読む力・読み解く力をはぐくみながら～	全教科 (生活科総合的な学習中心)
草津小学校	つながる 広がる 深まる 生活科・総合的な学習の時間 ～気づきや思いをつなげる教師のかかわり～	生活科 総合的な学習の時間
草津第二小学校	「読み解く力を発揮し、主体的に学ぶ子の育成」 ～効果的なICT活用を通して～	全教科
渋川小学校	仲間と共に学ぶ喜びがあふれ、「わかった」「もっとやってみたい」を実感 できる授業づくり	国語科
矢倉小学校	話し合い活動の充実「何のために？」を意識して	特別活動
老上小学校	願いを持ち、自ら課題を解決しようとする子どもの育成 ～子どもの主体性を高める単元づくりを通して～	生活科 総合的な学習の時間
老上西小学校	自ら考え、ことばで伝える子どもの姿をめざして ～自分の考えで活発に伝え合う授業づくり～	国語科
玉川小学校	対話を通して学び合うよさに気づき、自己の学びを確かにする子どもの 育成	国語科 算数科等
南笠東小学校	自分の考えを「話したい」「かいてみたい」と思える授業の創造 ～「発見」と「ふりかえり」から、算数科学習に主体的に取り組む態度を養う～	算数科
山田小学校	どの子にもやさしく「わかる」「できる」、確かな学力を育む授業づくり ～読む力を高めるための指導の工夫～	全教科
笠縫小学校	「できた！見つけた！」を積み重ね「算数がすき」と言える子どもを育む ～個に応じた支援の工夫と算数のよさに気づけるような指導の工夫を通して～	算数科
笠縫東小学校	子どもたちの自信や意欲を培う授業の創造 ～問題発見・解決学習を通して～	図画工作科
常盤小学校	地域とつながり、持続可能な社会の実現に向けて、主体的に行動できる 子どもの育成 ～子どもの学びがつながるカリキュラムの構築～	全教科 全領域
高穂中学校	「社会に開かれた教育課程」を目指す『たかほ学』 系統的なICT教育のカリキュラムマネジメント	総合的な 学習の時間
草津中学校	自分の考えをもち、適切に表現できる生徒の育成	全教科
老上中学校	「議論や交流から学びを深め考動する生徒の育成」 ～単元の授業づくりを意識した取組～	全教科
玉川中学校	「自ら課題を見つけ、協働の学びを推進し、解決をめざす生徒の育成 ーいのちー」	全教科
新堂中学校	ESD 教育の枠組づくりと「伝える力」を育てる学習活動の工夫	全教科
松原中学校	ESD を軸とした持続可能な社会に向かう生徒の問題解決力の育成 ～地域との協働学習を通して～	全教科 全領域

スキルアップ支援講座

● やりがい、手ごたえを感じる授業づくり

スキルアップ支援講座では、アドバイザーが学校を訪問し、1学期は対象の先生の授業参観およびOJTリーダーの参観授業を通して、先生方がやりがいや手ごたえを感じる授業づくりについて共に考えています。

① 単元を見通した学習計画と毎時間のふりかえり

教材研究をするにあたって、単元全体でのゴールイメージを持ち、その上で1時間の学習を計画できるよう支援をしています。また、毎時間の学習では、どんな学びをしたのかを振り返ることの大切さ、そのために学年の発達段階に合わせてキーワードの指定や文型の指示などの有効性について助言をしてきました。



② 対話によって学びを深める課題・発問の工夫

正解か間違いかではなく、「なぜそうなるのか」、「どうしたらうまくいくのか」「本当に〇〇でいいのだろうか」など、子どもの概念を揺さぶる発問が大切です。また、対話的な学習を進めるためには「話し合う値打ちのある課題になっているか」を吟味することも必要です。授業の中での子どもの様子から、どんな課題設定や発問がより有効なのかを対象の先生と共に考え、普段の授業につながるよう支援しています。

③ ICT 活用による子ども同士の相互交流の活性化

今年度から教育ソフトがロイロノートスクールに変わり、各学校では研修を進めながら少しずつ活用を進めています。子どもたち一人ひとりの考え方を一覧で表示したり、グループ間で画面を共有しながら課題について意見を交流したりすることで、自分とは違う見方や考え方に会ったり、意見を整理したりすることに役立っています。



協働学習に ICT を活用

今年度導入のロイロノートスクールは、カードの提出・比較・共有機能を活用して今まで取り組んできた協働学習をさらに進めていくことができます。ノート作業、観察動画、ネット検索、作品写真など多様なデータをカード形式にしてみましょう。



e ライブラリは、児童・生徒が自学自習できるドリルソフトで、すでにたくさんのドリルに取り組んでいる人もいます。

先生から課題を出し、家庭での学習に使うなど自動採点ができる利点を生かした活用が期待できます。



プログラミングの授業では、小学校では Viscuit や Scratch3 が活用されています。

コンピューターは魔法ではなくて、人が考えた仕組みで動いていることをわかってほしいものです。自分で作ったプログラムを紹介したり説明したりする活動を大切にしています。



令和5年度草津市教職員夏期研修講座のご案内

講座名	主な内容	講師	日時	場所
人権教育講座	「自分を解放するための人権学習 ～部落問題学習を核として～」 2016年に施行された「部落差別解消推進法」から7年たった今も、目に見えない差別やインターネット、SNSによる差別は後を絶ちません。部落差別をはじめとするあらゆる差別の当事者は「世間一般の人たち」であり、「差別を受ける人」ではありません。「誰一人取り残されない」世の中において、すべての人の人権が守られ、互いが受け入れられる、そんな世の中にしていくために、当事者の立場として、何に気づき、何をしていかなければならないのか、ヒントをいただきます。	大阪多様性教育ネットワーク 共同代表 土田 光子さん	8月3日 (木) 9:30 ～ 12:00	教育研究所 研修室
生徒指導講座①	「危機管理的な視点で事例を見立てる生徒指導 ～事例検討を通して～」 不登校・いじめ対応・学級崩壊の支援・家庭環境・ヤングケアラー etc 現代の子どもたちを取り巻く様々な事例をもとに、危機管理的な視点で見立て・指導支援・対応していくための方法を演習を通して一緒に考えていただきます。また、普段はなかなか聞くことができない法的な視点からの質問にも答えていただけます。	長野総合法律事務所 弁護士 草津市学校問題 サポートチーム アドバイザー 峯本 耕治さん	7月27日 (木) 9:30 ～ 12:00	教育研究所 研修室
生徒指導講座② (子ども家庭・若者課主催)	「子ども・家庭を取り巻く現代的課題と対策について」 大阪府下で子ども・若者の支援を精力的にされ、子ども家庭庁参与としての経験から、ヤングケアラーをはじめとする困難を抱えた子どもに対して、学校現場での支援のヒントとなるお話をさせていただきます。	子ども家庭庁参与 辻 由起子さん	7月26日 (水) 13:30 ～ 15:00	キラリエ草津 6F大会議室
教育相談講座①	「不登校児童生徒とその保護者に寄り添って ～学校復帰、あるいは社会的自立をめざす支援について～」 社会、家庭、学校、地域・・・、複雑に絡み合った背景の中で、不登校児童生徒は年々増加傾向にあります。不登校を経験した我が子の子育ての経験や学校に合わない子とその家族のための居場所づくりの活動をしてきた中で感じたり、学んだりしたことをお話していただきます。子どもたちの学校復帰、あるいは社会的自立をめざすために、どんな支援ができるのか、明日からの学校現場での実践のヒントをいただきます。	オープンスペース祐の風 代表 藤原 祐子さん	7月27日 (木) 13:30 ～ 16:00	教育研究所 研修室
教育相談講座②	「先生方のメンタルヘルス ～少し楽になりませんか～」 大津市社会福祉協議会で長年しんどい思いを受け止めてこられた経験から、働きやすい環境やもっと楽になれるコミュニケーション等について教えていただきます。先生方のウェルビーイングのために一緒に考えてみませんか。	龍谷大学特任教授 山口 浩次さん	7月24日 (月) 9:30 ～ 11:30	教育研究所 研修室
特別支援教育講座	「この子たちの応援団になりたい3 ～私たちだからこそできること～」 多様性を尊重し、「誰一人ひとり取り残されない」教育をめざす中で、特別な支援を要する子どもの特徴に気づき、寄り添い、応援することはすべての子どもの安心につながります。今年もいくつかの事例から、私たち学校教員にできること、するべきことを一緒に考えます。	野洲市立野洲小学校 校長 細谷 亜紀子さん	8月4日 (金) 13:30 ～ 16:00	教育研究所 研修室
学力向上講座①	「国語授業の「個別最適な学び」と「協働的な学び」 ～主体的な学びを支える「ロングレンジ」の学習活動～」 個別最適な学び・協働的な学びの実現に向け、子どもが自律して学習する場面が多くなる中、小学校国語科の授業デザインはどのようにすべきなのか。一方的に教え込む授業の改善方法から、子ども主体の活動(ロングレンジの学習活動)のアイデアまで、実践事例を交えてご紹介いただきます。	京都女子大学教授 水戸部 修治さん	7月26日 (水) 9:30 ～ 11:45	教育研究所 研修室
学力向上講座②	「小学校・中学校外国語科における〈目標〉(指導)と評価の 一体化に向けて ～中間評価の在り方について～」 どんな学習においても、私たち教員は〈目標〉の達成に向けて子どもたちを(指導)し、その成果を「評価」します。この一連の流れをていねいに繰り返すために「中間評価」をどう設定し、どう活用するといのか、実践事例を交えて解説していただきます。 *第2回英語推進委員会と兼ねています。	佛光大学准教授 赤沢 真世さん	7月24日 (月) 13:30 ～ 16:00	教育研究所 研修室

講座名	主な内容	講師	日時	場所
ESD ICT教育講座	「ICTでSDGsを具現化する ～社会に出る子どもたちへの教育について考える～」 早くからSDGsの理念を掲げ、環境問題に対し企業として貢献でき ることに取り組んでこられた経験から、やがて社会人となる子ども たちを預かる教員が今どんなこと知っておかないといけないのか、 SDGsの取り組み方や課題を解決するための手段としてのICTの可 能性について、考える機会をいただきます。	日本ソフト開発株式会社 代表取締役会長 藤田 義嗣さん	7月31日 (月) 13:30 ～ 15:30	教育研究所 研修室
研究発表大会① 第1部 奨励論文発表会	①「廊下改造プロジェクト ～2階から感じる身近な自然環境～」 ②「『中学校社会科授業における知識・技能の階層を意識した学習 課題の設定』 ～知るだけから分かる、使える知識の習得を目指し て～」 ③「『自分から・いっしょに・できた!』本気になれる探究的学習を目 指して ～OIKAMI型スクールESDの創造～」 <u>※令和5年度研究奨励事業応募者の中間研修会を兼ねていま す。</u>	①笠縫東こども園 吉村 涼さん (現矢倉こども園) ②草津中学校 水谷 哲郎さん ③老上小学 小森 裕美さん	8月2日 (水) 13:00 ～ 14:15	教育研究所 研修室
研究発表大会② 第2部 教育講演会 人権教育 (LGBTQ+)	日程・講演内容 14:30～14:35 開会行事 14:35～14:50 研究報告 「自ら『はてな』を見つけ、『やり方』を考える子を育てる算数授業 ～『個別最適な学び』と『協働的な学び』という観点から学習活動を工 夫して～」 教育研究所 令和4年度研究員 杉本 久美香 14:50～16:30 講演 「性の多様性から人権について考える」 <講演概要> 出生時に割り当てられた性別がその人の性である。また、誰もが異性を 好きになる。このことを「あたりまえ」とした教室・学校になっていません か？また、子どもたちの性を勝手に決めたりしていませんか？その人の 〈性のあり方〉は、その人の大切なもの。その人の「人権」です。それは子 どもたちにとっても同じです。 すべての子どもたちが排除されることなく、その人の「人権」が守られ、 安心して過ごせる教室・学校にするために、まず私たち大人が〈性のあり 方〉〈性の多様性〉について深く知ることが大切です。その上で、私たち 大人も含め「じぶん」と隣にいる誰かの「人権」が同じように尊重される、 そんな環境をつくるために、自分には何ができるのか、一緒に考えてみま しょう。	にじいろi-Ru(アイル) 田中 一歩さん 近藤 孝子さん	8月2日 (水) 14:30 ～ 16:40	教育研究所 研修室

くさつ教員塾

くさつ教員塾 幼児教育講座 (幼児課共催)	「遊びと学びをつなぐ円滑な接続に向けて」 なぜ幼児期の遊びと児童期の学びを接続することが必要なのか。 円滑な接続に向けて、各就学前施設や小学校が取り組むべき内容 や、円滑な接続が生み出す互恵性についてお話いただきます。 <u>※『草津市幼保小接続推進会議』の接続期合同研修会と兼ね ています。</u>	滋賀文教短期大学教授 伊藤 孝子さん	8月3日 (火) 13:30 ～ 16:00	教育研究所 研修室
-----------------------------	--	-----------------------	------------------------------------	--------------

★連絡・注意事項

講座名	準備物・注意事項等	場所
生徒指導・教育相談 (子ども家庭・若者課主 催) 7月26日(水) PM	子ども家庭・若者課主催の研修ですので、市民活動団体や中間支 援組織の方々も参加されます。	キラリエ草津 6階大会議室
幼児教育 (幼児課共催) 8月3日(木) PM	幼児課と共催の研修ですので、保育士の方も参加されます。	教育研究所 2階研修室

研究発表大会

日時：令和5年8月2日（水）

場所：草津市立教育研究所 研修室



第1部 令和4年度草津市教育研究奨励事業表彰者による発表

13:00～14:15

- ①「廊下改造プロジェクト ～2階から感じる身近な自然環境～」
笠縫東こども園 吉村 涼さん（現矢倉こども園）
- ②「『中学校社会科授業における知識・技能の階層を意識した学習課題の設定』
～知るだけから分かる、使える知識の習得をめざして～」
草津中学校 教諭 水谷 哲郎さん
- ③「『自分から・いっしょに・できた！』本気になれる探究的学習をめざして
～OIKAMI 型スクール ESD の創造～」
老上小学校 教諭 小森 裕美さん



第2部 教育講演会 14:30～16:40

開会行事	14:30～14:35
研究報告	14:35～14:50
講演	14:50～16:40

●研究報告

自ら「はてな」を見つけ、「やり方」を考える子を育てる算数授業
～「個別最適な学び」と「協働的な学び」という観点から学習活動を工夫して～
草津市立教育研究所 令和4年度研究員 杉本 久美香

●講演

「性の多様性から人権について考える」

演題

講師 にじいろ i-Ru（アイル） 田中 一步さん 近藤 孝子さん

【講演の概要】

出生時に割り当てられた性別がその人の性である。また、誰もが異性を好きになる。このことを「あたりまえ」とした教室・学校になっていませんか？また、子どもたちの性を勝手に決めたりしていませんか？その人の〈性のあり方〉は、その人の大切なもの。その人の「人権」です。それは子どもたちにとっても同じです。すべての子どもたちが排除されることなく、その人の「人権」が守られ、安心して過ごせる教室・学校にするために、まず私たち大人が〈性のあり方〉〈性の多様性〉について深く知ることが大切です。その上で、私たち大人も含め「じぶん」と隣にいる誰かの「人権」が同じように尊重される、そんな環境をつくるために、自分には何ができるのか、一緒に考えてみましょう。

主催 草津市教育委員会
草津市立教育研究所

NITS のオンライン講座のご紹介



新しいコンテンツが追加されています。こちらもぜひご活用ください

実践力向上シリーズ

<新着動画（令和3・4年度制作分）>

No1	授業における ICT 活用～ICT を活用した授業改善～	No9	オンライン学習の授業の進め方
No2	授業における ICT 活用～校内研修の改善～	No10	1 人 1 台端末の活用場面について
No3	プログラミング教育の具体的実践 #1～私たちの生活とプログラミングの関係～	No11	1 人 1 台端末を活用した主体的な学びについて
No4	プログラミング教育の具体的実践 #2～実際のプログラミングを通じたプログラミング的思考～	No12	ファシリテーション総論
No5	プログラミング教育の具体的実践 #3～授業実践事例にみるプログラミング教育の要点～	No13	ファシリテーション各論Ⅰ～会議・話し合いに活用するファシリテーション～
No6	プログラミング教育の具体的実践 #4～実践からみるプログラミング教育の可能性～	No14	ファシリテーション各論Ⅱ～授業に活用するファシリテーション～
No7	「実践力向上シリーズ」のねらいと期待	No15	ファシリテーション各論Ⅲ～学校経営に活用するファシリテーション～
No8	「探究的な学習の過程」の方法論		

校内研修シリーズ

<新着動画（令和3・4年度制作分）>

No92	幼児教育の質の向上の重要性	No112	これからのへき地・複式・小規模校教育（下）
No94	「令和の日本型学校教育」の構築を目指して	No113	人権教育
No95	自殺予防	No114	生活安全
No96	不登校児童生徒の理解と保護者への支援	No115	学校における医療的ケアについて
No97	学校のビジョンと戦略	No116	学校安全（総論）
No98	特別な支援を要する児童・生徒に対する道徳教育～特別支援学級における指導の在り方：理論編～	No117	学校における男女共同参画の推進～無意識の思い込み（アンダース・バイアス）に気づき、変革につなげるために～
No99	特別な支援を要する児童・生徒に対する道徳教育～特別支援学級における指導の在り方：実践編～	No118	子供を性犯罪・性暴力の被害者・被害者・傍観者にならないための「生命（いのち）の安全教育」について
No100	ハンセン病問題学習	No119	特別支援教育総論 学習のユニバーサルデザイン・段階的対応・合理的配慮
No101	学校の内外環境の分析と特色づくり	No120	カリキュラム・マネジメント
No102	学校ビジョンの理解と共有	No121	不登校児童生徒の対応について
No103	教職員が育つ学校づくり～校内 OJT の考え方と進め方～	No122	特異な才能のある児童生徒に対する指導・支援Ⅰ「特異な才能」の理解と受え方
No104	1 人 1 台端末の活用による情報活用能力の育成	No123	特異な才能のある児童生徒に対する指導・支援Ⅱ 才能が輝く個別最適な学びと協働的な学び
No105	スクール・コンプライアンス（著作権）	No124	子どもを救い、チーム学校を形成するスクリーニング（理論編）
No106	ESD（持続可能な開発のための教育）	No125	学級・学年・学校支援につながるスクリーニング（実践編）
No107	主権者教育の推進①～現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成～	No126	総合的な学習の時間とカリキュラム・マネジメント
No108	主権者教育の推進②～指導上の政治的中立の確保等の留意点～	No127	よりよい授業づくりのための「新しい」教科書の使い方～小学校編～
No109	キャリア・パスポート	No128	学校全体で取り組む食育の進め方～学校活動（2）で進める食育の授業づくりを中心に～
No110	幼保小の接続について	No129	生徒指導Ⅰ「生徒指導要要」の改訂をふまえたこれからの生徒指導の方向性
No111	これからのへき地・複式・小規模校教育（上）	No130	生徒指導Ⅱ 学校・教職員に求められる生徒指導の進め方



独立行政法人教職員支援機構



NITS 校内研修シリーズ

検索



やまびこだより



たびすけDayのご案内

詳しい申し込み方
法は、各学校に送

☎ 077-563-1270



たびすけ Day とは・・・

市内の小・中学校の不登校および不登校傾向の児童生徒とその保護者の方々を対象にやまびこ教育相談室およびやまびこ教室の活動を見学、体験していただくとともに、スタッフとの相談や交流もしていただけます。今後の開催日時等は下記のとおりです。

開 催 予 定 日	活 動 内 容 (予定)	備 考
8月21日(月) 10:30~12:00 (青地教室) 13:30~15:00	【サマースクール】 室内ゲーム&制作	午前午後の2回開催
8月23日(水) 10:30~12:00 (上笠教室) 13:30~15:00	【サマースクール】 室内ゲーム&制作	午前午後の2回開催
10月中旬	制作(土器づくり)	
12月4日(月) 10:00~12:00	次世代文化芸術体験「写真」	青地教室にて合同開催
1月中旬 10:30~12:00 (青地教室・上笠教室)	室内ゲーム (囲碁ボール等)	

～6月の特別活動～



じゃがいも掘り

ボランティアさんのおかげで、キタアカリ・男爵・メークインの3種類のじゃがいもを掘らせていただくことができました。梅雨の晴れ間、子どもたちの真剣に取り組む姿や、じゃがいもが掘れたときの嬉しそうな表情を見ることができました。

6月のたびすけ Day

6月8日(木)に第1回目のたびすけ Day が開催され、参加者全員で「プラ板キーホルダー」の制作に取り組みました。子どもさんと来られた保護者の方も、プラ板制作に参加されて、親子で楽しむ姿が見られました。



スクールソーシャルワーカー SSW恒松先生が語る シリーズ教育相談



自分を取り戻したYさん

Yさんは父親の海外転勤に伴って2年間アメリカで暮らし、小2の夏に帰国しました。渡米中に現地校に入学、文化や言語の違い子どもたちの中でも臆することなく、元気に学校生活を送っていました。

帰国後、Yさんは新しいランドセルを背負って、順調に日本での学校生活をスタートしました。しかし、次第にアメリカの学校みたいな学校に通いたいという思いを話すようになり、

「あんな、お母さん。日本ではみんな一緒じゃないとあかんのやで。」

と言って、アメリカで使っていた文房具やカバンを使わなくなりました。教室の様子や本人の話から、何かを言われることやいじめがあったわけではなさそうでした。アメリカとの学習スタイルの違いに逆カルチャーショックを受けていたYさんは、エネルギーをすり減らし、不安を高め、自ら委縮していったのです。保健室に顔を出すことや、朝、登校を行き渋ることが増えていきました。



少しずつ元気がなくなっていくYさん。もともとマイペースなところがあり、両親は本人の希望を踏まえて学校の先生たちと相談し、3年生からフリースクールを利用することにしました。2年生の終業式の日、担任の先生はYさんに

「これから先、皆と違う道を行くのは大変かもしれないけれど、きっといろいろな人が助けてくれる。先生も応援しているよ。ただ、学校にはYさんが使える権利があるものがいっぱいあるから、自分にとって良いものは上手に使ってね。」



と話してくれました。

Yさんは、3年生の時は誘われても学校に顔を出すことはありませんでしたが、4年生になってクラブ活動には参加してみました。5年生でも同じクラブに入り、行事にも参加するようになりました。勉強自体は嫌いではなく、フリースクールで自分のペースで学習を進めていました。異年齢の小集団の中でいろいろな体験を積むことができました。安心できる環境の中でエネルギーを溜め、成長してきたYさんにとってフリースクールでは少しずつ物足りなくなっていました。そして「そろそろ〇〇小学校に戻ろうかな。」

と言い始め、6年生からは学校に通うことに決めました。



実際に戻ってみると、学校には連絡帳の書き方や当番の進め方も含め「6年生はできて当たり前」のやり方や決まり事が沢山あります。3年間のブランクがあったYさんは最初、戸惑ったようです。でも、丁寧に教えてくれる、いつでも待ってくれるクラスの友だちに支えられて、無事に小学校を卒業しました。中学校では吹奏楽部と生徒会に入りました。時には、失敗することも友だち関係に悩むこともありましたが、Yさんの中に

「とりあえずやってみよう。ダメなら私には帰る場所がある。」

と思う余裕があり、以前のように自分を見失うことはありませんでした。



いつかはフリースクールかアメリカに戻ろうかとも考えていたYさんですが、結局、日本の公立高校、国立大学に進学しました。そして、卒業後は大阪の企業に就職し、今も得意の英語を生かしながら働いています。

シリーズ

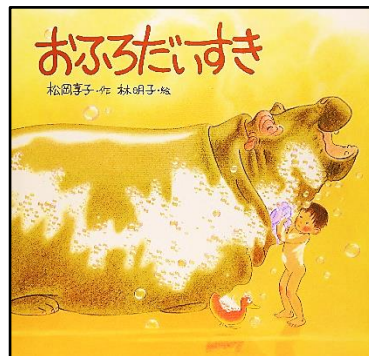
司書さん おすすめの絵本



『おふろだいすき』 松岡 享子／作 林 明子／絵 福音館書店

おふろが大好きなまこちゃんは、いつもあひるのブッカをつれておふろに入ります。体を洗っていると、おふろの底から、大きなかめが浮いてきました。そのあとも、ペンギンやカバなど、色々な動物たちが、おふろに登場します。

やわらかな色合いの絵が、おふろの温かさを感じさせて、おふろあがりのまこちゃんがとても気持ちよさそうな表情をしています。たくさんの動物たちと、大きなおふろに入れたら、と想像するだけで、おふろの時間が待ち遠しくなりそうです。



『バケミちゃん』 おくはら ゆめ／作 講談社

おばけのバケミちゃんは、いつも夜中にゴミ捨て場にやってきては、気に入ったゴミを拾っていきます。ある夜、いつも通りゴミ捨て場にやってきてゴミを拾おうとしますが、どこからか「ダメ！」と声が聞こえてきました。

大人にとってはただのガラクタでも、子どもにとってはかけがえのない宝物だったりします。「ええもんひろったー！」と、目をきらきらさせながら、たからさがしをするバケミちゃんに、子どもたちも共感するでしょう。



『ころんちゃんのおともだち』 あきやま ただし／作・絵 PHP 研究所

ころんちゃんは、りゅうの子どもです。子どもですが、森を守るためにがんばっているころんちゃんには、おもしろくて、ちょっとかわったおともだちがたくさんいるのです。

いつもにぎやかで、ころんちゃんを鼻息で飛ばしてくれるぶひつじちゃんや、いたずら好きだけど悪者を一緒にやっつけてくれるコラスくんなど、みんな頼りになるおともだちばかりです。遊びながら森を守るころんちゃんとおともだちの姿が頼もしく見えてきて、絵本や物語に興味のない子でも、楽しめる絵本です。



読み聞かせなどに、ご活用ください

このシリーズは、市立図書館の司書さんのご協力を得て作成しています。

